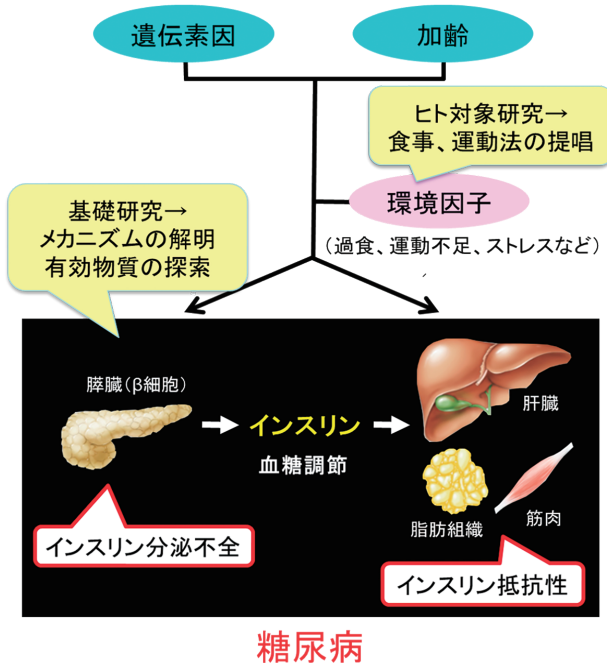


向 英 里

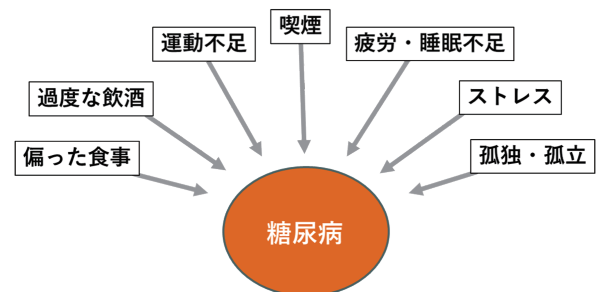
(生命科学部)

「食×運動」と糖尿病



世の中が豊かになった今日、栄養過多や交通の発達による運動不足などの環境要因により起こる生活習慣病が年々増加の一途をたどっており、なかでも糖尿病は世界レベルで考えなければならない問題の一つになっています。

糖尿病は単一の原因でなることはごく稀であり、さまざまな要因の相乗効果の結果、発症するという特徴をもちます。したがって、完全な治療法がまだ存在しない複雑な疾患です。糖尿病がどのように発症するのか、またどのような治療法あるいは予防がより効果的であるのか、を総合的に探求しています。



所 属

生命科学部生命医科学科

研究テーマ

- 膵β細胞インスリン分泌のメカニズムの解明
- 血糖降下作用を有する食品成分・天然化合物の探索
- 効果的な血糖降下をもたらす理想的な食事・運動法の提唱

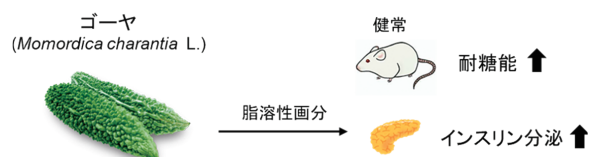
キーワード

糖尿病、血糖値、インスリン、糖代謝、栄養素

血糖降下作用をもつ食品

●ゴーヤ

ゴーヤ抽出物の脂溶性画分は膵β細胞からのインスリン分泌をATP産生増加により増強し、健常における糖負荷後血糖値上昇を急性的に抑制することが示されました。
(Shimada T et al, Br J Nutr, 2022)



●カイアポイモ

カイアポイモの水溶性成分は筋肉や肝臓におけるインスリン感受性を亢進することで、健常における糖負荷後血糖値上昇を急性的に抑制することが示されました。
(Kinoshita A, Nagata T, et al, Heliyon, 2023)

